

プレミア証券株式会社 様



<プレミア証券株式会社について>

外国為替取引、証券取引、商品先物取引をワンストップで取り扱う総合的な証券会社。コンシェルジュ形式を取り入れ、タイムリーで質の高い情報を提供することで、顧客の利益の最大化を目指しています。従業員数 26 名(平成 28 年 03 月 01 日現在)。

「TeamViewer から ISL Online に切り替えることで、必要な安全性を確保したリモート環境だけでなく、管理業務の効率化も同時に実現できました」

プレミア証券株式会社

業務部 システム担当部長 丸山 貴之氏

写真右端：弊社営業部 木村、中央右：技術部 他谷

情報システム担当者が1人だけの、いわゆる「1人情シス」として、ユーザーが業務で使用する複数の端末をサポートするプレミア証券株式会社 業務部 システム担当部長の丸山 貴之氏(写真中央左)に、ISL Online の導入経緯とその効果を伺いました。

1 人情シスとして IT 管理業務をセキュアな環境で効率化することが必要だった

— 業務内容と IT 活用の特徴についてお聞きします。

当社はさまざまな金融商品を取り扱う証券会社です。インターネットを利用した営業や接客が多くなっていますが、コンシェルジュ部門を持つ当社では、お客様と直接お会いする対面営業を基本としています。

そのため、営業員は外出していることが多く、スマートフォンの利用が必須になっています。また、自分のデスクでは PC を使用しますので、現在 40 台前後のデバイスを管理しています。

— IT 管理業務を行う上で、どのような課題があったのでしょうか。

お客様の資産に関わる情報を取り扱うため、セキュアな IT 環境は前提条件です。また、IT 担当は 1 人だけなので、すべての業務に対応する必要があります。セキュアな環境を保ちながら、日常的なヘルプデスク業務も担当しているため、業務に負担がかかっていました。また、PC やスマートフォンの操作が得意な人ばかりでないことも、負担を大きくしていました。さらに、会社の規模拡大に伴って管理業務も増加し、業務効率の改善は喫緊の課題でした。

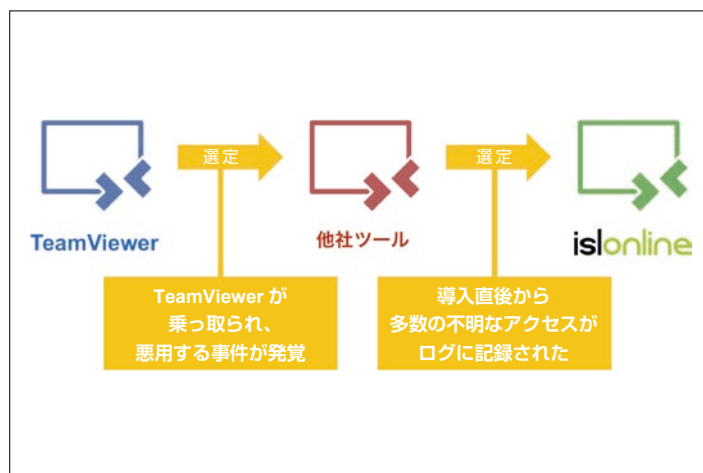
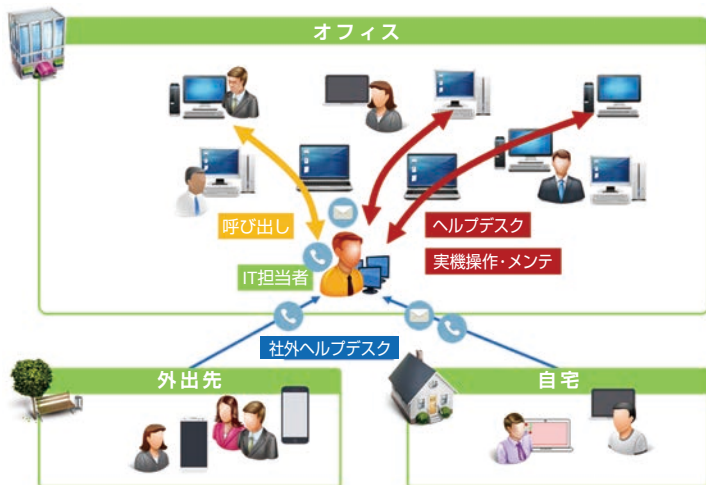
— リモートツールの導入のきっかけをお聞かせください。

前述のような課題解決に加え、同時にオフィスの面積も広がったことから、リモートツールの導入を決めました。

最初に導入したのは TeamViewer 試用版で、リモートツールの有効性を実感したことを覚えています。しかし、その後、セキュリティ事故の報道が目につくようになってきました。ID やパスワードの流出により PC を乗っ取られるなどの報道もあり、セキュアなリモートツールの必要性を感じていました。

セキュリティ、スマホ対応、コストの 3 点で ISL Online を採用

TeamViewer の次に導入したのは他社ツールでした。しかし、セキュアな環境を構築するどころか、多数の不明なアクセスがログに記録されているのがすぐに発覚し、早急に別のリモートツールを選定



して、導入しなければならぬ事態になってしまいました。そのときに見つけたのが ISL Online だったのです。

— どのような理由で ISL Online の導入を決めたのでしょうか。

当社が求めた要件は次の3つでした。

要件 1. 「暗号化や認証により、セキュアなリモート環境を構築できること」

要件 2. 「PC に加えてスマートフォンへのサポートも可能であること」

要件 3. 「導入・運用コストを抑えられること」

— 順々に伺います。要件 1 「暗号化や認証により、セキュアなリモート環境を構築できること」とは。

ISL Online は、全セッションが SSL 256bit-AES で暗号化されていることに加え、クライアント登録時のモジュールインストールでは接続者を限定でき、多段階のパスワード認証でセキュアな環境でリモート操作ができるので安心感があります。また、定期的な改善アップデートもあり、セキュリティ面で安心して継続利用できると感じました。

— 要件 2 「PC に加えてスマートフォンへのサポートも可能であること」とは。

PC と同様にスマートフォンに対してサポートできる点も必要でした。外出している営業からの問い合わせも増えており、追加費用なしにスマートフォンもサポートできるのはよい点でした。

— 要件 3 「導入・運用コストを抑えられること」とは。

要件 1 のセキュアなリモート環境と業務効率化という点を考えると、導入・運用コストは妥当だと思いました。すでに ISL Online は多くの実績を上げていたので、導入の正式決定もスムーズに行えました。

(オーシャンブリッジより) ISL Online パブリッククラウドライセンスでは、ログインを行う際に、2段階認証を行う機能があります。ログインページ内で SMS (ショートメッセージサービス) が受信可能な携帯電話の番号を登録すると、以後のログイン時は、従来の ISL アカウント (ユーザー名+パスワード) に加え、登録した電話番号宛に毎回送られてくる数字のセキュリティコードを入力する必要があります。



“セキュアな環境と同時に業務効率化を実現できています”

用途に応じた使い分けで業務効率化を実感

— ISL Online を現在どのように活用されているのでしょうか。

最も利用頻度が多いのは、社内の PC に対するヘルプデスク業務です。また、外出中の営業に対するサポート業務では、PC だけでなくスマートフォンへの対応も行っています。スマートフォンに対応していることで、意外な効果があったのが、顧客へのサポートに活用した例です。営業員のスマートフォンを使用して、アプリのインストール方法を説明したことがありました。

ISL Online は同じライセンスで用途に応じて、あらかじめモジュールをインストールした社員の PC をサポートする常駐接続と、ワンタイムパスワードを都度発行してサポートするワンタイム接続の使い分けができるので、非常に便利です。

また、直感的で非常に使いやすいツールのため、ユーザーへの負担もなく、大変助かっています。

— 導入の効果はいかがですか。

当初期待していた以上の管理業務の大幅な効率化を実現できたと実感しています。ユーザーである営業についても、ヘルプデスクの充実は大きなメリットになっています。実は、IT 管理担当の増員計画があったのですが、業務の大幅な効率化が進んだため、なかなか実現されないという事態も生じています。

少ない IT 管理のリソースを最大限に活用できる

— 今後の計画についていかがですか。

現在は、1 ライセンスの契約ですが、将来的には複数ライセンスを契約して、さらに効率化を進めていきたいと考えています。

また、いわゆる「1 人情シス」で IT 管理を行っている企業にとって、IT 管理リソースの最大限の活用を可能にするのがリモートツールです。リモートツールを使用すれば、ユーザーも管理者も、社内外を問わず、どこにいてもサポートできるようになります。それを実現できる ISL Online は、中小企業にとって大きなメリットをもたらすツールだと思っています。



ISL Online を活用した限られたリソースでも効率的に管理ができる体制

リモートコントロールツール

ISL Online 15 日間無料体験の申込は

<https://www.islonline.jp>



ISL Online国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

Web: <https://www.oceanbridge.jp/>

Email: sales@oceanbridge.jp

TEL: 03-6809-0967 (営業部)

- ISL OnlineはXLAB d.o.o.の商標です。
- その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ご購入に関するお問い合わせは